

【所属名：能生事務所 有線テレビ係】

【会議名：令和元年度第2回放送番組審議会・有線テレビジョン放送施設運営委員会】

会 議 録

作成日 令和元年12月3日

日	令和元年11月26日(火)	時間	13:25~14:30	場所	能生生涯学習センター 2階能生地区公民館
件名	議題 放送番組審議(公開) ・10月18日(金)~10月31日(木)放送「信越トライウォーク」について				
出席者	【出席者】 4名 放送番組審議会・有線テレビジョン放送施設運営委員会委員 吉田委員、岡田委員、齋藤委員、橋立委員 (欠席：中村委員) 【事務局】 4名 能生事務所 土田事務所長、橋立係長、池亀主査、磯谷主査				
	傍聴者定員		一人	傍聴者数	一人

会議要旨

<p>1 開会 (13:25)</p> <p>2 会長あいさつ 吉田会長</p> <p>3 能生事務所長あいさつ 土田事務所長</p> <p>4 議事 放送番組審議 ・「信越トライウォーク」について</p> <p>【事務局】 資料に基づき、信越トライウォーク(10月18日(金)~31(木)放送)について説明。</p> <p>【出席者】意見等</p> <p>委員) まず、いいなと思ったのが、ドライブ中の映像から入ったということ。 最近のテレビの旅番組を見ると、車内の様子から入る傾向にあり、今のニーズや流れに乗った捉え方で、いいオープニングだった。</p> <p>委員) 車内の映像は、固定カメラで撮影したのか。</p> <p>事務局) 車載可能な小型カメラを導入し、今回初めての試みだった。</p> <p>委員) 雨飾山荘には行ったことがないが、番組で取り上げた「はんごろしラーメン」「都忘れの湯」など、紹介された名称に趣を感じた。 以前行ったことがある兄も、少し改装された様子を感じながら懐かしそうに見ていた。</p> <p>委員) 出演者が2人だけというのは、寂しい感じがした。 他に観光客がいれば、その人たちを巻き込んでインタビューなど賑やかな雰囲気づくりをすれば、市外へのPRにも効果的だったのではないかと。</p> <p>私もまだ雨飾山荘には行ったことがなく、番組を見て行きたい気持ちになった。</p> <p>委員) 今回、一緒に出演した魚沼の女性リポーターと、地元リポーターとの掛け合いが、息もあ</p>
--

っていて軽やかで、見ている側としては楽しげで、非常に好感が持てた。

総合的に見て、わたし個人的には優秀の「優」と評価したい。

委員) 2人の息が合っていてよかったし、魚沼のリポーターは、訛りやイントネーションの違和感もなく、明るく自然な感じがよかった。上手に突っ込んでくれていたという印象。

委員) 「トライウォーク」という番組名なので、リポーター2人で何かにトライしてもよかったのでは。辛いラーメンの食レポも、今回は地元リポーター1人だったが、2人で挑戦するとよかったのではないか。

事務局) 山荘側としては、他のメニューも紹介したかったことに配慮して、今回は地元リポーターだけの挑戦となった。

委員) オープニングは車内の様子だったが、雨飾山荘までのアクセスがわかりづらかった。車内の映像をもう少し短めにして、主要道路からの交差点や標識・看板などの映像も取り入れるとわかりやすかったのではないか。

できれば、電車が通る大糸線の画像を後付けでも挿し込められれば、大糸線のPRもできたのではないか。

委員) 山荘の頑丈な梁など、建物内部の紹介はあったが、そこが出发点となる登山道の紹介が欲しかった。

委員) 「信越トライウォーク」の糸魚川ロケは、年間何回あるのか。

事務局) 1局あたり、2回から3回まわってくる。

今年の糸魚川ロケは、1月にフォッサマグナミュージアム周辺、5月におおかやば山菜園とグリーンメッセ能生、そして今回が3回目の紹介となった。

担当局は順番になっており、多い年は3回。2回の年もある。

委員) ネタ探しが大変なのでは。

事務局) なるべく、メジャーではない所。見ている、驚いてもらえるような場所や物を選ぶように心がけている。さらに、ロケ日と放送日の間隔を考え、季節感がずれないように選定が必要になってくる。

委員) 紹介する場所の時間配分に工夫が欲しかった。雨飾山荘のコーナーに比べて、後半の高浪の池と小滝川ヒスイ狭の紹介コーナーが短いと感じた。紹介だけで終わった感がする。ヒスイの原石に迫って欲しかった。

委員) 高浪の池もヒスイ峡も、紅葉の時期はとても見ごたえがあるので、後付けでもいいので紅葉の映像があるとよかった。

事務局) 小滝川に下りなかった理由の一つに、ちょうどロケ中にサルの群れが現れたので、危なくて近づけなかった。また、サルがいる観光地となると、観光客が減ることも憂慮して、大きく取り上げられなかった。

委員) 高浪の池と明星山を一望できるビュースポットがあるが、そこからの映像を入れると、よりPRできたのではないか。

事務局) 最近ではドローンを導入している局が多い。市内では、個人的にドローン映像の撮影を趣味にしている方も多いので、可能であれば映像を借用することなども検討していきたい。

委員) スキー場や消防など、ドローンを保有している施設や団体が増えており、観光紹介などに使えれば効果的だと思うので、よりよい番組作りのために検討していただきたい。

委員) 先般、県内民放局の番組審議会のニュースを見ている「ヤラセ演出」について考えさせら

れたが、「信越トライウォーク」は、素朴な地元のありのままを紹介している感じがいいと思った。求めるものが大きすぎず、県内外のケーブルテレビ局が協力しあっている手作り感がよく、伝えたいことがストレートに伝わってきた。

委員) 大きな局の番組と違って、「信越トライウォーク」をはじめ、委員はNCNについて、出演者から裏方、作り手の顔も苦労もわかっているの、いい意味でも悪い意味でも情が移り、遠慮があったり逆に何でも言ったりするところもあるが、番組審議会の役割としては、これからもお気づきの点があれば、何でもおっしゃっていただきたい。

事務局) NHKや民放の放送番組審議会と、本をただせばNCNのこの審議会も「放送法」に則って設置されている、同じレベルのものと考えていただいてよい。

委員) 大きな局と張り合わなくても、ケーブルテレビ局は地元のテレビ局として、身近な話題をありのままに伝えてくれているのがいい。そんな中でも、車載可能カメラを導入したオープニングなど、時代の流れや視聴者のニーズには応えており、オープニングを見たときは「やったな！」という新鮮味を感じた。

委員) 見てしまえば30分の番組だが、移動を含めて一日がかりのロケであり、準備も含めるとかなりの苦労があったかと察する。

委員) 撮影も大変だが、決められた期限までに、決められた時間内に収める編集も撮影以上に苦労が多いのではないか。カメラマンは、今回どなただったのか。

事務局) 今回は、魚沼ケーブルテレビのスタッフがカメラを担当した。NCNは職員が少ないので、魚沼から2人のスタッフに来ていただき、カメラマンに音声も兼務していただいた。

委員) 音の大きさ、テロップも問題なかったと思う。

委員) オープニングの車内での会話が、聞き取りづらかったように思う。

事務局) 初めて使った車載可能な小型カメラは、感度がよすぎるため、車のエンジン音を大きく拾ってしまったようだ。今後は、リポーターにマイクを着けるなど、対応していきたい。

委員) 明星山は「糸魚川真柏」も有名だが、真柏を紹介したことはあるか。

事務局) 過去の「信越トライウォーク」で、明星山と小滝川ヒスイ峡を紹介した回に真柏も紹介した。

委員) せっかく触れていたの、真柏と小さくてもよいのでヒスイ原石、実物が難しければインサート映像でもあるとよかったのではないか。

5 その他

委員) 前回の会議でお願いした「健康体操」の第2弾追加について、進捗状況はどうか。

事務局) 担当課の健康増進課に打診中である。糸魚川市ホームページに掲載されている体操を、ケーブルテレビで放送できないかということも検討しているが、制作してから年数が経過しており、画質や画面サイズが現況にマッチしないこともあって、新しく制作する方向で進めていかなければならないと考えている。

委員) 消費税増税による、使用料の改定はあるのか。

事務局) 来年度の使用料改定は予定していない。しかし、設備更新費用が嵩んでくることから、令和3年度には見直しが必要になると考えている。令和2年度中に、見直し案を揉んで、地区公民館単位での説明会などで、加入者にお示ししていきたいと考えている。

令和2年度については、従来通り1,530円の使用料とする方向である。

委員) 設備更新で、負担が最も大きいものは何か。

事務局) 端末機の故障による改修費用が大きい。また、本部装置については、これまで自主放送に係る機器の更新を重点的に行ってきたが、難視聴に係る機器で耐用年数が過ぎているものも多くあるため、こちらも長期的計画に沿って更新して行きたい。

事務局) 難視聴対策は能生地域ばかりではなく、糸魚川地域や青海地域にも難視聴地域があることから、糸魚川市全体の難視聴対策として考えていかなければならないと捉えている。

糸魚川市全体では400kmの光ケーブルが張られており、うち能生地域が100km、糸魚川地域と青海地域で300kmの長さとなっている。将来的には、市全体の難視聴施設として対応することを考えていかなければならない。

委員) 雷や強風、大雨の日にBSの映りが悪くなることがある。

事務局) BSは、地上から衛星に電波を送る基地局があり、その基地局の天候が悪かったり、NCNの受信アンテナが天候の影響を受けたりしても、映像が乱れることがある。

委員) 先日、能生地区の一部でテレビが映らなくなったということがあった。

事務局) 一部の地域で瞬電・停電があり、その影響で端末機が故障してしまったことによる。

委員) 地域情報チャンネルのスキー場ライブカメラの映像は、いつから出るか。

事務局) スキーシーズン前、降雪があり次第切り替えたい。

委員) 能生川の状況が見られるのがよい。今年は特に大雨の日があったので、気にして見るものが多く役に立っている。

委員) 能生海岸の映像がわかりづらいので、もう少しアップにできないか。

事務局) 最大限にズームしており、現状の設備と環境では精いっぱいである。

委員) 大雨の時には上流地域の雨量が気になる。放山の雨量計は復旧できないか。また、気圧データの再掲載もお願いしたい。

事務局) 故障した上能生観測所に、放山の機器を代替に設置したので、放山の施設は復旧できない。気圧データについては、1月までに文字を大きくするなど画面全体のリニューアルを予定しており、気圧データの再表示も予定している。

事務局) 3点お知らせする。

1点目は、12月9日と10日の2日間、光ケーブル改修工事に伴い磯部地区全域で一時テレビが映らなくなる。対象地区には、11月25日付で回覧文書を発送した。小泊・荒崎キャンプ場上部で光ケーブルの障害が発生し、磯部地区でテレビが見られないという不具合が頻発していることに対応する工事。集落単位で切り替えるため、1集落あたり30分程度の停波になる見込み。

2点目、文字放送の機器の更新を行い、リニューアルした。

3点目、「信越トライウォーク」とは別に、毎年、長野・新潟・富山ケーブルテレビ局共同制作番組を正月に放送しており、先日収録が終わった。1月1日から7日までの放送予定で、糸魚川市は今回B級グルメの「かまぼこメンチ」を紹介する。ぜひご覧いただきたい。